

おきたま暮らしのライフプラン

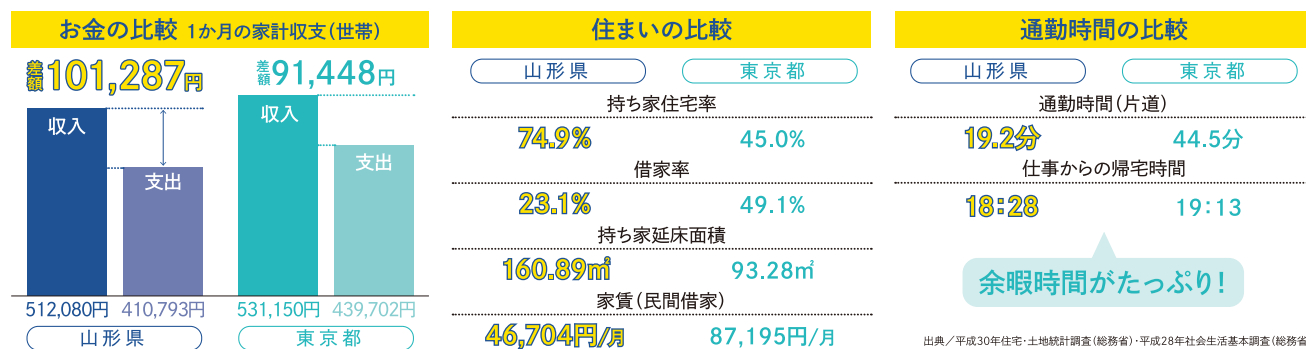
山形(おきたま)に移住するのに想定しておく支出は？



- 車代
山形は大都市ほど電車やバスなどの公共交通機関が十分ではありませんが、道路網が発達しているため交通手段として"自家用車"が必要となります。先輩移住者には約30～100万円の手頃な中古車を買う方もおられます。また、冬場の運転に、スタッドレスタイヤは必須で、約10万円が目安となり、安心して使用できる年数は3～4年とされています。
- 除雪
おきたまは雪が多く降る地域。道路の除雪は行政がきちんと行いますが、自宅の敷地などは自分で除雪しなければなりません。スノーダンプやスコップなどを使って雪かきを行います。手作業での除雪は大変なので家庭用除雪機(約30～60万円)を持っているご家庭も多くおられます。また、除雪ボランティアなどにより、皆で助け合いうちから除雪を行っている地域もあります。
- 燃料費
車での移動が多くなるためガソリン等の燃料費を考える必要があります。特に冬期間、最近ではベレットや薪ストーブで暖をとるご家庭も多くなっていますが、石油ストーブやガスファンヒーターなどの暖房器具が欠かせません。そのため、首都圏よりも灯油やプロパンガスの燃料費が多くなります。また、除雪機がある場合はその燃料費もあり、冬場の出費は多くなります。
- 集落での集金
地域によっては町内会費、夏祭り開催費用など地域の維持や発展に必要な経費がかかる場合があります。
- 車の代行運転代
居酒屋などが自宅から離れていると、車での移動となるため、帰りに代行運転をしてもらう必要があり、距離に応じてですが2,000円～3,000円程度が目安です。

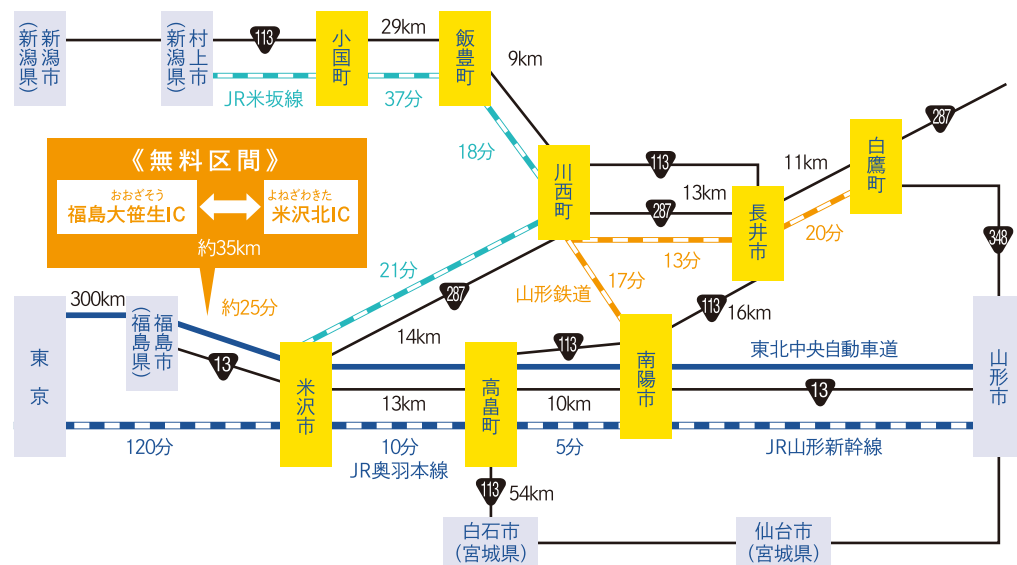
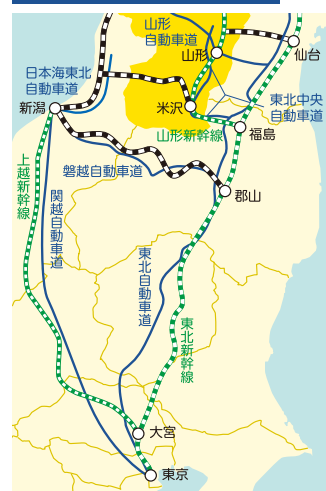
数字で見る

山形県の暮らし 山形県と東京の比較(抜粋)



詳しくは「山形県移住交流ポータルサイト やまがた暮らし情報館」をご覧ください。URL: <https://yamagata-iju.jp/>

アクセス



お問い合わせ

(一社)ふるさと山形移住・定住推進センター

〒990-8570 山形県山形市鉄砲町2-19-68 村山総合支庁本庁舎3階
TEL.023-687-0777 FAX.023-687-0788 E-mail:yamagata-iju@crest.ocn.ne.jp

やまがたハッピーライフ情報センター(認定NPO法人ふるさと回帰支援センター内)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
TEL.03-6269-9533 FAX.03-6269-9534 E-mail:yamagata-iju@royal.ocn.ne.jp

置賜地域移住交流推進協議会事務局(山形県置賜総合支庁総務企画部総務課連携支援室内)

TEL.0238-26-6020 FAX.0238-26-6022 E-mail:yokitamarenkei@pref.yamagta.jp

山形県移住交流ポータルサイト やまがた暮らし情報館

イベント・移住支援など、
より詳しく知りたい方は
ぜひアクセスしてみてください!
<https://yamagata-iju.jp/>



おきたま 山形県置賜地域移住ガイドブック

毎日が、
あたらしい。

YAMAGATA
OKITAMA

YAMAGATA
おきたま暮らしの
トリセツ

山形県
置賜地方

山形県 置賜地域移住交流推進協議会

地域おこし協力隊
TAKAHASHI TAKESHI & SATOCHI

町文化にふれた生活を満喫！

人とのご縁を大切に、

自然がすぐそばにある町の生活を発信したい！

高谷毅さん・里美さん

2019年移住

川西町
KAWANISHI

毅さんは農業研修生として農作物栽培や農閑期における大豆の選別、里美さんは食文化プロモーターとしてイベント準備や食文化の継承に携わっています。

R1 移住したきっかけは？

ふるさと回帰支援センターで勧められたことをきっかけに川西町を知りました。実際に足を運び町担当者や先輩移住者の話を聞いてみると、自分たちが思い描いていた生活ができる場所はここだと感じ、川西町に決めました。

R2 移住して大変だったことは？

車必須の暮らしに慣れるのが少し大変でした。また、家庭菜園を試みていたのですが野生動物対策が必要だと聞き驚きました。そして、まるで外国語のように聞こえる方言を理解することが難しかったと感じました。

R3 移住して良かったことは？

通勤時間がたった数分で希望していた農業ができること、静かな場所で気兼ねなくのびのびとした生活ができることがとても嬉しいです。また、周りに住む方々が伝統的な食文化を教えてください、ワクワクしながら過ごしています。

R4 仕事や暮らしでの今後の目標は？

今の便利な世の中に合わせてながら、身近に自然を取り入れる暮らしを目指しています。丁寧な暮らしは時間や気持ちにゆとりがないと行動に移しにくいと感じるため、可能な範囲で自然と共に暮らす生活を送り、いずれ発信していきたいです。

R5 移住を考える方にアドバイスを！

まずは実際に現地を訪れてみてください！私たちは5年以上思考だけを巡らせていました。現地に足を運びたくさんの出会いを経験すると、今までの考え方が少し変わるような気がします。

ラーメン店「麺屋葵」を経営しています。自分がおいしいと思うラーメンにこだわって、日々研究を重ねています。

井村賢悟さん

2012年移住

思い切って移住したことで道が拓けました。

南陽市
NANYOU

2012年移住

R1 移住したきっかけは？

両親が古民家暮らしに憧れて、市内の古民家を購入したことがきっかけで南陽市を訪れました。何度か訪れるうちに、環境のいい南陽市で子育てをしたいと思うようになり移住しました。はじめは古民家に間借りしてラーメン店を開業しました。

R2 移住して大変だったことは？

古民家でラーメン店を営んでいたときに、予想以上の集客で、排水の処理に間に合わなくなるため、まわりの田んぼに迷惑をかける前に現在の場所に移転しました。その他は、まわりの人の支えもあり、移住しての苦労は感じませんでした。

R3 移住して良かったことは？

今のところお客さんにも来ていただき、店を続けてくれたので、移住は間違っていないと思います。好きな仕事があり、一軒家を建て、車を持ち、大型犬を飼うような生活は、東京だったらできていなかったと思います。

R4 仕事や暮らしでの今後の目標は？

南陽市に移住してきたからご当地ラーメンを作るというのではなく、自分が作りたいラーメンをこだわって作っています。日々妥協なく仕事をしていると自然と道が拓けてきて、やった分だけ褒美が返ってくると思い取り組んでいます。

R5 移住を考える方にアドバイスを！

南陽市のことをあまり知らないで移住しましたが、しがらみもなく、フットワークが軽く仕事に取り組むことができました。興味があるのであれば、一歩踏み出さないと楽しみも1年後、5年後と後回しになってしまいます。

YAMAGATA OKITAMA

ストーグー

一步踏み出した先には

自分が主人公の人生。

R1 移住したきっかけは？

米沢にいれば、自分は確実に成長できると感じたからです。米沢にはたくさんの魅力的な大人の方がいらっしゃいます。その方々から直接学べるこの場所は、僕にとっての宝庫です！

R2 移住して大変だったことは？

よく考えましたが…ありません！(笑)いまの僕があるのは、地域の方をはじめ、お世話になっている方々にご協力いただいたおかげです。ありがとうございます！

R3 移住して良かったことは？

いっぱいありすぎて…。とにかく、なにをやっても楽しいです！でも一番は、やはり地域の人たちの温かさ、にいっぱいふれられるここに住めるということです。

R4 仕事や暮らしでの今後の目標は？

ホップの栽培に挑戦します！昔は南原地区にホップ畑がたくさんあったそうです。今はなくなってしまったその景色を取り戻したいです！

R5 移住を考える方にアドバイスを！

アイデアだけで、可能性が無限大なところが魅力です。どう楽しむのかは自分次第！

米沢市
YONEZAWA

2019年移住

R1 移住したきっかけは？

先輩農家さんから学びながら、楽しんで農業させてもらっています！

R2 移住して大変だったことは？

大学卒業後すぐ、移住して農家に！！

R3 移住して良かったことは？

自然栽培をされている先輩農家さんの農業への熱い想いに惚れ込み弟子入りました。現在は蕎麦をメインに、師匠の指導を受け、農業させてもらっています！

R1 移住したきっかけは？

2010年に実家のある埼玉県川口市から仙台まで自転車旅行をしました。その時に会った人や町の風景を見て、都会とは違う魅力を感じ、田舎暮らしに興味を持ち、2011年に川西町地域おこし協力隊に応募したことがきっかけです。

R2 移住して大変だったことは？

「見る」と「住む」のは大きな違いで、最初はカルチャーショックに悩まされました。都会がグローバルなら、田舎はローカルなので、グローバルスタンダードが通用しないことが苦労すると思います。(←うまい事言っ！)

R3 移住して良かったことは？

一人暮らしをしていた頃、食事や生活面で周りの人が気にかけてくれて親切にしてもらいました。都会では一人暮らしは珍しくないで、こういう経験が出来たのは、田舎ならではの良さだと思います。

R4 仕事や暮らしでの今後の目標は？

一度きりの人生なので、仕事も暮らしも何事も自分のためになるよう心がけています。どこで暮らしても、良いことも悪いこともあるはずなので、人や風土のせいにしないで、現実として受け入れる人間力を日々、鍛えています(笑)

R5 移住を考える方にアドバイスを！

縁もゆかりもない土地に移住を考えると、どうしても理由探しをしがちです。しかし、理想と現実とは違うもので、こんなはずじゃなかった…となる場合もあります。でも、そういう時こそ「なんとかなる」と思うとなんとかなります！

高畠町
TAKAHATA

2018年移住

R1 移住したきっかけは？

色んな人に伝えたい！ギターとラジオで田舎暮らしの魅力を

R2 移住して大変だったことは？

「暮らす」ことが「楽しい」と思える毎日に！

R3 移住して良かったことは？

地元のケーブルテレビ局で、ラジオ番組の制作や放送業務をしています(エフエムNCV おきたまGO!83.4MHz)



長井市
NAGAI

喫茶店（セカイスケッチコーヒー）
帰国後長井でカフェを開業！
夫婦で世界を巡り、

加藤由美さん
2013年移住




主人の実家である古民家をリノベーションして『コーヒーとチャイと、手作りケーキの店』を経営しています。

古民家で
ゆっくりコーヒーを
楽しんで下さい♪

2013年移住




Q1 移住したきっかけは？

夫婦で世界一周の旅をしていた最中、義父の急逝により帰国しました。その後、主人の実家がある長井に移住することを決意。近所や商店街の方々の温かい言葉のおかげで、安心して長井に住むということを決意できました。

Q2 移住して大変だったことは？

冬の寒さと雪の多さに慣れるのが大変でしたが、住んでみるとそのおかげで水が豊かであったり、野菜や果物が美味しく育つのだと知り、今ではその気候もありがたく感じる事が出来るようになりました。

Q3 移住して良かったことは？

都会の暮らしとは違い“ない”ものも多いですが、その分生活がシンプルになり、自分の時間や家族と過ごす時間が充実しているように思います。また自然を近くで感じる事が出来るので、何となく心が癒されています。

Q4 仕事や暮らしでの今後の目標は？

“世界で出会ったちょびり変わっておいしいもの”を徐々にメニューに加えたいです。また、セカイスケッチコーヒーが、皆さまにとって生活の一部のように身近な存在になるよう努力していきたいと思っています。

Q5 移住を考える方にアドバイスを！

山形県は社長さんが多い場所だそうで、実際私も住んでみて自営業の方が多くないと感じています。その為、いろいろなお話を聞く機会もありますし、市のサポートも手厚いのでやりたいことを始めやすい環境です。



白鷹町でゲストハウスとカフェをやっています。

2016年移住

ゲストハウス＆カフェ経営
遠藤真弓さん 茅野唯さん

家族（まぶし）でしか味わえない、ゆったりとした時間を満喫してほしい!!



白鷹町
SHIRATAKA




Q1 移住したきっかけは？

地域おこし協力隊として白鷹町に来て、出会った人が優しいのが一番の決め手です。

Q2 移住して大変だったことは？

何をやるのか地域の方に理解してもらうのが、結構大変でした。まだまだですが、少しずつ理解してもらえるよう頑張っています。

Q3 移住して良かったことは？

ゲストハウスでは、ゲストと地域の方が交流している光景をみると良かったなと思います。カフェでは美味しかったと言ってもらえると、とびきりに嬉しいです。

Q4 仕事や暮らしでの今後の目標は？

時間を忘れるような空間を作っていきたいなと思います。暮らしでは自分たちのペースで丁寧に暮らしていく事が目標です。

Q5 移住を考える方にアドバイスを！

地域との関わり方は都会に比べると難しい面もありますが、野菜を頂いたり気にかけて頂けることはとても心強いです。

日々の暮らしの中で家族（まぶし）に来たゲストと、ここでの時間流れを共有しながら、過ごしています。地域の人とお茶したり、薪を割ったり、自分たちの暮らしのなかでゲストハウスとカフェをやっています。

好きなことを活躍、未来を創る先輩の声。

Q1 移住したきっかけは？

地元の愛知県で伐採の仕事をしている中、山村部に実際に住んでみたいと思い、「緑のふるさと協力隊」に応募しました。1年間の活動期間での出会いや、やりたい仕事ができる、ということが決め手となり移住を決めました。

Q2 移住して大変だったことは？

冬の厳しさは生活面、金銭面ともに移住する前と比べものにならないくらい大変です。また、地区・学校・消防団・青年団など様々な活動に参加しており、何もない休日がほとんどないため楽しくも体力的にきつときもあります。

Q3 移住して良かったことは？

一人で何かをすることよりも皆でやり遂げた時の達成感や喜びは何にも代え難く、移住する前には経験できなかった。また小国で結婚子どもが生まれ、自分で挽いた材木で家を建てられたことも移住のおかげです。

Q4 仕事や暮らしでの今後の目標は？

地元の木材を使うという流れ、文化が少なくなっているの、無垢材の良さを多くの人に知ってもらい、地元の木材を選んでもらえるようにしたいです。そのために製材技術などの腕を上げていきたいと考えています。

Q5 移住を考える方にアドバイスを！

自分のことだけでなく、様々な活動に参加して飲みましょ！食べましょ！食べ物やお酒は美味しく、一度一緒に飲めば皆仲間です。春夏秋冬を五感で感じられる中で生活できるのは、心も身体も生き生きします。

製材業
伊藤正俊さん
2012年移住

あなたの暮らしに小国の木材を！
製材が好きです！




スギさんまい！至高の生活があなたを待っています！

Q1 移住したきっかけは？

飯豊町との出会いは東京で開かれていた農業人フェアです。そこで0からでも農業を始められる場所を探して出て出会ったのがきっかけです。決め手は農業体験で飯豊町に訪れた際に町の方や、研修先の方の印象がとてもよく即決させて頂きました。

Q2 移住して大変だったことは？

もともと転勤が多い仕事をしていたので、環境が変わることでの苦労はそこまでありませんでしたが、ずっと関東に住んでいたの雪は最初大変でした。

Q3 移住して良かったことは？

今年が独立して1年目でしたが全てを自分で決めることができ、行動した分が結果として返ってくるので、とてもやりがいを感じています。また、今後のビジョンに関して自由度が高いのでワクワクが止まりません。

Q4 仕事や暮らしでの今後の目標は？

夢の実現をテーマに成長していきます。私たちが自分の将来にワクワクし、夢を叶えていく姿を子供や関係する全てのの人たちにってもらい、地域を盛り上げていければと考えています。

Q5 移住を考える方にアドバイスを！

何をメリットと考え、デメリットを感じるかだと思います。人口が少なかったり、地方だからこそできるチャンスも数多くあると思います。少しでも興味があれば一度住んで判断するのもありと感じます。私は移住してよかったと思います。

農業
三澤優治さん
2016年移住

「やりたい」を形に！
0からのスタート農業！




直売もしてますので近くに来た際はお待ちしてます



地域の宝がいっぱい『愛と義にあふれるまち米沢』

米沢市 《よねざわし》



東京から新幹線で約2時間 住まうも関わるも
あなたに合った米沢暮らしを発見しよう



米沢市は、四季折々の雄大な景観に豊かな温泉群があるほか、登山やスキーなどが手軽に楽しめる「自然の恵み豊かな都市」。伝統産業の米沢織物、全国でも有数のブランド牛「米沢牛」の産地でもあり、上杉の城下町として、歴史と伝統が息づく街でもあります。主要な交通に山形新幹線や東北中央自動車道があり、山形県の南の玄関口として発展しています。

暮らしのおすすめポイント

- 地域ごとに運動会やお祭りなど様々な行事に参加しながら交流が深められる
- 四季の遊びや自然を活かした公園で、子供たちがのびのびと育つ環境がある
- ものづくりの街として知られていて、世界で活躍する企業も多く、やりがいのある仕事を見つけることできる

支援制度など

- ☐暮らしを体験し、交流を楽しみたい方 ➡ お試し暮らし体験事業（通年）
- ☐子育て世代の方 ➡ 高校生までの医療費が無料
- ☐住まいをお探しの方 ➡ 米沢市空き家・空き地バンク
- ☐就職をお考えの方 ➡ やまがた就職起業ナビ米沢

○お問い合わせ
総合政策課 地域振興担当 TEL.0238-22-5111
E-mail chikiki-i@city.yonezawa.yamagata.jp
http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/



まほろばの里⑥たかはた

高畠町 《たかはたまち》



地味豊かな土地は多くの果物が生産され
自然の豊かな山容も美しい景観のまち



「まほろば」とは、「周囲が山々に囲まれた平地で住みよい美しいところ」という意味を持つ言葉です。奥羽の美しい山並みに囲まれた肥沃な土地に、米・ぶどう・りんご・ラフランスなどが実り、四季折々の多彩な風景が展開される自然環境は、まさに「まほろばの里」と呼ぶにふさわしい町です。

暮らしのおすすめポイント

- 屋内木育遊戯場「もつくる」など、子育てを支援する施設・支援策が充実!
- 町内どこでもワンコインで移動できるデマンドタクシーが便利!
- 新幹線や高速道路が町内を通過しているため、都市部からのアクセスも良好!

支援制度など

- ☐高校3年生(18歳)までの医療費が無料
- ☐移住者の持家住宅の新築費用を助成(最大50万円まで)
- ☐空き家バンクによる住宅情報の提供

○お問い合わせ
企画財政課 企画調整係 TEL.0238-52-1112（直通）
E-mail kikaku@town.takahata.yamagata.jp
https://www.town.takahata.yamagata.jp/



水と緑と花のまち・ながい

長井市 《ながいし》



水路や歴史的建造物 蔵が数多く点在
歩きながらまちなか観光を楽しむこともできます



長井市は、県の西南部、置賜地方の北部に位置し、東は出羽丘陵、西は朝日山系、南は飯豊山系に囲まれた長井盆地に市街地があります。競技用けん玉の生産日本一で、市内各所の十数社の神社が一堂に会する「黒獅子まつり」が有名です。また、子育て・教育分野に力を入れており、「長井の心」を教育の柱とし、各小中学校にALTを配置する等英語教育も盛んに行われています。

暮らしのおすすめポイント

- 子育てコンシェルジュの配置により子育て支援のワンストップ化
- 水道水が100%地下水(超軟水)
- 1ヵ月1,000円で乗り放題の市営バス、待ち時間が豊富な鉄道

支援制度など

- ☐長井市定住補助金(上限100万円)
- ☐新規就農支援
- ☐オーダーメイド型お試し滞在(お試し長井暮らし・移住コンシェルジュ)

○お問い合わせ
地域づくり推進課地域づくり支援室 TEL.0238-87-0817
E-mail n-chiiki@city.nagai.yamagata.jp
http://www.city.nagai.yamagata.jp/furusato/



日本の紅(あか)をつくる町

白鷹町 《しらたかまち》



春はサクラ、夏はペニバナ、秋は鮎、冬は隠れそば屋の里
白鷹町には、四季折々の楽しみがあります



白鷹町は、山形県南部の置賜地方にある町です。町を東西に分けるように最上川が流れ、周囲を1000mほどの山に囲まれた自然豊かな地域です。白鷹町は、県花「紅花」の生産量が日本一の町で「日本の紅(あか)をつくる町」としてまちづくりを進めております。移住のご相談は白鷹町ふるさと移住推進協議会へお問い合わせください。

暮らしのおすすめポイント

- 18歳まで医療費無料化や保育料・小中学校給食費の助成
- 町外から転入の方に空き家バンクの利用への支援や若者夫婦・子育て世帯へ支援
- 野球場、ソフトボール場、サッカー場、テニスコート、プール、スキー場などスポーツ施設が充実

支援制度など

- ☐45歳未満の夫婦世帯や子育て世帯の転入の方に10万円の支援&子育て加算
- ☐空き家バンク利用の転入者へ売買(50万円)と賃貸(5万円)支援&子育て加算
- ☐白鷹町で新婚生活をスタートする35歳以下のご夫婦に家賃や引っ越し費用などを最大40万円支援

○お問い合わせ
白鷹町商工観光課 TEL.0238-85-2111
E-mail shoukou@so.town.shirataka.yamagata.jp
http://shirataka-iju.jp/



菊とぶどうといで湯の里

南陽市 《なんようし》



湧き出る温泉と豊かな自然に恵まれ
四季折々の彩りが美しい悠久の歴史が息づくまち



南陽市は、100年以上続く「菊まつり」や開湯920余年の「赤湯温泉」、1200年の歴史を誇る「熊野大社」がある伝統あるまちです。市の北部は山林、南部は肥沃な平地が広がり、ぶどう、さくらんぼなどの果樹や水稲栽培が盛んです。子育てしやすい環境No1を目指して施設や制度、相談体制を整えています。

暮らしのおすすめポイント

- 市街地と田畑が近く生活の中に自然が感じられる
- 幼稚園・保育園・学童保育・放課後子供教室が充実、働きながら子育てができる
- 新幹線が停車する「赤湯駅」や東北中央道「南陽高畠IC」があり交通の便がいい

支援制度など

- ☐子育て世代定住促進交付金(住宅取得費用を最大100万円支援)
- ☐子育て支援医療制度(中学3年生まで医療費無料)
- ☐新規就農や起業支援のワンストップ相談窓口

○お問い合わせ
みらい戦略課企画調整係 TEL.0238-40-0248
E-mail mirai@city.nanyo.yamagata.jp
http://www.city.nanyo.yamagata.jp/



緑と愛と丘のあるまち

川西町 《かわにしまち》



豊かな自然の恵みと古き良き伝統と文化
そしてここに住む人々の温かさが魅力



川西町は、四方を飯豊・朝日・蔵王・吾妻の名山に囲まれた置賜地方の中心に位置する農業の町です。米や豆、牛肉などに加えて、庭先の畑では日々の食卓を彩る多様な作物が栽培され、周辺の里山には山菜や木の実、きのこなど森の恵みが溢れています。ここには自然や季節の移り変わりに応じた暮らしを楽しめる豊かさがあふれます。

暮らしのおすすめポイント

- 移り行く季節ごとの旬の食材を使った料理を味わい、町を美味しく楽しめる
- 季節によって変わる景色、雲の形、においなどを体験し、四季を感じる生活ができる
- 高校生まで医療費が無料で子育てしやすい環境

支援制度など

- ☐川西町地域おこし協力隊事業
- ☐川西町空き家バンク事業
- ☐町の担当者が、移住者と住民の橋渡しをします

○お問い合わせ
川西町まちづくり課 TEL.0238-42-6668
E-mail machizukun@town.kawanishi.yamagata.jp
http://www.town.kawanishi.yamagata.jp/



彩りゆたかな白い森 ~自然も暮らしも働き方も~

小国町 《おくにまち》



都会の喧騒を離れて心豊かに暮らしたい方へ
自分らしい暮らしを実現しませんか?



飯豊連峰と朝日連峰の広いブナの森に囲まれた小国町。冬の雪とブナの樹皮から町を「白い森」と表現しています。季節ごとの絶景、マタギなど山での暮らし、最先端素材の製造業での仕事など、彩りある生き方が可能です。まずは小国体験ツアーへご参加ください!

暮らしのおすすめポイント

- 山はもちろん海も近いので、四季ごとのアクティビティが多彩(釣り、登山など)
- 保小中高が連携し、安全・安心な環境のもと、地域ぐるみで子育て!
- 故令指定都市の新潟市(新潟空港)が近く、買い物や旅行も行きやすい!

支援制度など

- ☐0歳〜高校生までの医療費が無料
- ☐移住し町内の企業に就職した方に5万円の支援金を交付(18歳以下の子ども、小国高校入学者がいる世帯は10万円加算)
- ☐お試し滞在のための交通費を一部助成、無料で宿泊できる住宅を整備

○お問い合わせ
総合政策課 TEL.0238-87-0821
E-mail mirai@town.oguni.yamagata.jp
http://www.town.oguni.yamagata.jp/



田園の息吹が暮らしを豊かにする町

飯豊町 《いいでまち》



劇的においしいお米 見渡せば広がる大自然
町民の皆さんの温かさが魅力 四季折々の景色が楽しめます



飯豊町は、全国的にも数少ない屋敷林に囲まれた、田園散居集落が美しい景観を形成しています。「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、失ったら二度と取り戻せない日本の農山漁村の景観・文化を守りつ、最も美しい村としての自立を目指す活動を行っています。米沢牛や米、アスパラガス、こくわワイン、どぶろく等が特産です。

暮らしのおすすめポイント

- 四季折々の食べ物(お米・山菜・野菜)や景色(田園散居集落・水没林)が楽しめる!
- 獅子祭り、雪まつり、めざみの里祭り、黒べこ祭り他、季節を通してイベントが盛りだくさん!
- 町内の8割以上が緑豊かな山林、大自然に囲まれた町!

支援制度など

- ☐町内に在産の出産の方のお子さん、小・中学校に入学した場合に税金・祝品を贈呈
- ☐18歳までの医療費すべて無料
- ☐町営学習教室「いいで希望塾」(中学校1〜3年生)英語と数学の講義を受講料無料

○お問い合わせ
企画課 TEL.0238-87-0521
E-mail i-seisaku@town.iide.yamagata.jp
https://www.town.iide.yamagata.jp/

